

第25期第2回（令和元年度第3回）公民館運営審議会 会議録

開催日時	令和元年7月17日（水） 午後2時～4時
開催場所	中央公民館・301学習室
委員	（出席者）佐々木（会長）、山崎（副会長）、小野委員、津嶋委員、若野委員 塚崎委員、豊田委員、柳澤委員、奥村委員、木戸岡委員 （欠席者）新井委員 ※役職者以外は、名簿記載順
職員	佐伯中央公民館長、富田中央公民館事業係長（記録）、佐野南街公民館長、森田狭山公民館長、中里蔵敷公民館長 （欠席者）三宅上北台公民館長
傍聴者	0人
会議次第	1 審議事項 （1）重点目標具体策について （2）公民館事業について （3）50周年記念事業について
配布資料	（委員全員に当日配布） ・資料1「先日まで一般市民だったからできる、公民館への疑問／質問／案提示など」 ・資料2「東大和市立公民館50周年記念事業スケジュール（案）」 ・資料3「ヒガシヤマト未来大学資料」 他
開会前 事務局	事務局からの報告等 はじめに、本日の会議資料の確認をさせていただきます。 本日の会議資料は、お手元の封筒に同封しております。本日主に使用する資料としまして、資料1「先日まで一般市民だったからできる、公民館への疑問／質問／案提示など」、資料2「東大和市立公民館50周年記念事業スケジュール（案）」、資料3「ヒガシヤマト未来大学資料」、ならびに、前回の審議会でもお配りしましたが、東大和市こうみんかんだより7月1日号でございます。 その他、同封の当日資料一覧に記載させていただいております。 ご確認をお願いいたします。 事務局からは以上でございます。
会長	これより、第25期第2回公民館運営審議会を開会いたします。 それでは、審議事項①「重点目標具体策」について、佐伯中央公民館長、説明をお願いします。
佐伯館長	それでは私からは、全体事業における、重点目標に対する具体的な事業についてご説明いたします。 事前に配布いたしました「平成31年度中央公民館重点目標」をご覧ください。 公民館の事業実施は、「社会教育法第20条 公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もつて住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。」という部分を法的根拠としております。 この社会教育法を根拠として、東大和市の公民館として、その目的を達成するための具体的な「目標」として、この公民館運営審議会の皆様にご意見をいただきながら、毎年作成しているものでございます。いわば公民館事業の実質的な「実施根拠」にあたるものでございます。 「（1）目標の概要」に記載されております①から③を目標とし、具体的な施策の内容を（2）に定めております。 この時間では、この重点目標を達成するために実施する各館の具体的な事

	<p>業を委員のみなさまにご説明させていただきたいと思います。</p> <p>それでは、具体的な事業についてご説明いたします。</p> <p>施策の内容②ーア、イ、エ、③ーイ 及び④ーイ、エに該当する事業として、「夏休み☆みんなで作る遊空間」でございます。</p> <p>夏休みの期間、中央公民館を中心に、青少年の自主的な学習活動と様々な体験学習や交流の場として開放する事業でございます。</p> <p>企画・運営については、実行委員会を組織し、実行委員を中心にイベントの企画を行っております。イベント当日は、実行委員のほかに東大和高校の生徒のみなさんにイベントの応援スタッフとしてご協力いただいております。</p> <p>毎年多くの子どもたちにご参加いただいております。今年度につきましても、すでに募集を開始しておりますが、募集開始当日で定員に達するイベントが数多くあり、大変盛り上がるのが予想されます。</p> <p>幅広い年代の方が関わる事業でもあり、公民館として大変重要な事業であると認識しております。今後も継続して実施してまいりたいと考えております。</p> <p>施策の内容③ーア、イ 及び⑤に該当する事業として、「ヒガシヤマト未来大学」でございます。</p> <p>平成29年度まで実施しておりました「市民大学・東大和グリーンカレッジ」から、「ヒガシヤマト未来大学」にリニューアルし、市内5館の公民館を拠点として、まちの資源を発見し、アイデアを出し、プロジェクトを作り、まちの未来をみんなで作ることを目指す、学びと実践の場、として事業を実施しております。</p> <p>昨年度はヒガシヤマト未来大学を開講し、未来大学のメンバーを中心として、各公民館を拠点に地域の特色を活かした講座を検討し、実施いたしました。今後は、引き続き各公民館を拠点とした講座を展開するとともに、ヒガシヤマト未来大学が独立して活動を展開できるように支援してまいりたいと考えております。</p> <p>全体事業における重点目標具体策につきましては以上でございます。</p>
会長	説明が終わりました。ご意見がありましたら、ご発言をお願いいたします。
委員	東大和市中央公民館重点目標となっておりますが、中央公民館だけの重点目標なののでしょうか、それとも東大和市内の全公民館の重点目標なののでしょうか。
佐伯館長	これは、全公民館の重点目標です。申し訳ございません、訂正させていただきます。
委員	遊空間に関して、盛況であったとお伺いしておりますが、どういう科目が人気だったのでしょうか。
富田係長	料理教室は大変好評でした。カレー作りやクッキー講座などです。
会長	引き続き「重点目標具体策」について、各館からの説明をお願い致します。はじめに中央公民館の富田事業係長お願い致します。
富田係長	<p>説明します。それでは私からは、中央公民館事業及び新堀地区会館における、重点目標に対する具体的な事業についてご説明いたします。</p> <p>はじめに、中央公民館事業についてご説明いたします。</p> <p>最初に、施策の内容②ーア、及びイに該当する事業として、「戦争と平和について考える見学会」でございます。小学生を対象としており、小学校低学年の方は保護者同伴でご参加いただける事業です。</p> <p>夏休みの期間に実施をしており、子どもたちが戦争と平和について学ぶことができ、また、親子の交流の機会にもなっており、毎年多くの方にご参加いただいております。</p> <p>今年度は8月8日木曜日に実施をいたします。今年度も大変好評で、現時</p>

	<p>点でキャンセル待ちが10名以上いらっしゃる状況でございます。</p> <p>次に、施策の内容②ーア、イ及び③ーアに該当する事業として、「人形村のなかまたち」でございます。</p> <p>子どもたちに生の人形劇の楽しさを伝えるとともに、市内で活動している人形劇サークルの発表の場を設ける事業として実施しております。</p> <p>この事業は幼児・児童を対象としておりまして、昨年度は定員200人のところ、195人の方のお越しいただくなど、大変好評な事業でございます。</p> <p>例年2月に開催をしておりましたが、今年度につきましては中央公民館ホール天井改修工事のため、実施時期を前倒ししまして、10月5日土曜日に開催する予定でございます。</p> <p>最後に、施策の内容②ーウ、及び④ーイに該当する事業として、「障がい者青年教室『青年ビートクラブ』」でございます。市内の障がいのある若者の交流及び同世代の若者との交流を図る場を設ける事業として、平成4年度から実施しております。</p> <p>昨年度は、メンバー35人、ボランティアスタッフ19人が参加し、レクリエーションや音楽を楽しむ定例活動のほか、納涼会やクリスマス会、野外活動としてボッチャ大会に参加するなど、幅広い活動をいたしました。</p> <p>活動を通じて、メンバーだけでなく、スタッフそれぞれにとっての大切な居場所となっている事業であり、今後も継続して実施してまいりたいと考えております。</p> <p>引き続き、新堀地区会館の事業についてご説明いたします。</p> <p>施策の内容②ーウ、及び③ーイに該当する事業として、「シニアクラスで学ぶ！楽しむ！」でございます。</p> <p>地域で楽しく生き生きと暮らしていけるような学習と、地域で老いを支えあう仲間作りを促進することを目的とした高齢者対象の事業として、新堀地区会館で実施しております。</p> <p>市民企画講座として実施しており、市民の皆様がやってみたい講座を実現できるという一面もでございます。</p> <p>例年、定員以上の申込があり、高齢者の方が足を運べる場のひとつとして定着しております。</p> <p>今年度につきましても、8月27日から10月29日までの期間で開催を予定しております。</p> <p>中央公民館事業、及び新堀地区会館における重点目標具体策につきましては以上でございます。</p>
会長	<p>説明が終わりました。</p> <p>ご意見がありましたら、ご発言をお願いいたします。</p>
委員	<p>中央公民館、新堀地区会館の講座に限らず、現状のPR方法はどのようになっているのでしょうか。</p>
富田係長	<p>広報の手段といたしましては、こうみんかんだより、市報を利用して広報しております。また、インターネット上では市の公式ホームページ、公式フェイスブック、公式ツイッターなどを活用しております。</p>
委員	<p>東大和市内はマンション地域が多いのですが、そのマンションの掲示板はかなりのアピールになると思います。公民館事業はせっかくいいものを行っているのに、なかなか知られていないので、マンション地域の掲示板で広報を行えば、かなり注目されるのではないかと思います。</p>
佐伯館長	<p>市の広報掲示板には掲示させているのですが、マンションの掲示板ですと、マンション管理組合、自治会の掲示物のルールがございますので、そちらを調べてから、要望としてあげていきたいと思います。</p>
委員	<p>せっかくいいことをしているなので、もう少し宣伝を頑張っていたらいいですね。他市より活発な公民館ですので、年間で行事一覧を出していた</p>

	<p>だけるといいですね。また、男性が家に引きこもりがちなので、引っぱり出せるような内容の講座を企画してほしいです。</p>
佐伯館長	<p>市報、HPを活用するほか、こうみんかんだよりも奇数月に発行して、市報に折り込んでいます。加えて、地区館だよりもその公民館の近隣の方々に職員がポスティングしております。男性向けの講座についてですが、退職された方々も活用できるような、地域デビューができるようなきっかけづくりは公民館ができるところなので、PRも含めて検討したいと思います。</p>
委員	<p>学校だよりにルビを全部の文章に振るようになっています。外国の方だとなかなか漢字が読めないのですね。そのような豊かな、多様な文化を受け入れ、教育の保障をしてあげると、公民館もより活性化するのではないかと思います。以上です。</p>
佐伯館長	<p>毎月公民館にも資料として学校だよりが送られてきているので、小野先生にルビについて話したら、よく気づきましたねとおっしゃっていただきました。このルビを振っている学校だよりは二中と五中だけなのですね。公民館も高齢者から小さなお子様まで幅広い層の方にご利用いただいておりますが、外国人の方もご利用いただけるような工夫ということで、今後取り組んでいけたらと思います。</p>
委員	<p>公民館での行事について、ほとんどの方が知らないのですね。市民のためにあり、様々なことをやっていることをもっと周知していく必要があると思います。</p>
会長	<p>引き続きまして、南街公民館の佐野館長お願いします。</p>
佐野館長	<p>それでは、平成31年度 南街公民館の事業計画における重点目標具体策につきまして、ご説明いたします。</p> <p>重点目標（2）の施策の内容をご覧ください。</p> <p>最初に、②のアの子育て世代が利用しやすいようにする具体策としまして、成人対象の事業で、「保育付講座」でございます。昨年度は2本の保育室講座を実施しておりましたが、今年度は1本にまとめて9月から12月に実施を計画しております。</p> <p>子育て中の親が抱える問題を考え、仲間づくりをする場を提供するとともに自主グループ化を目指して実施いたします。</p> <p>次に②のイの子ども対象事業の及び親子対象事業を充実するの具体策としまして、「子どもたちとの公民館&amp;児童館」でございます。</p> <p>この事業は公民館で活動をしている大人と児童館に遊びに来る子どもたちが遊びや体験を通して異世代間の交流を図ることを目的に実施する事業でございます。</p> <p>なお、実施にあたりましては利用者連絡会との共催となっております。</p> <p>この事業は先日、7月6日（土）に実施いたしました。</p> <p>続きまして、③のイの利用者相互の交流を図るの具体策としまして「新春コンサート」でございます。こちらは南街公民館独自の事業として、多くの方に親しまれております。内容は利用グループと地域の音楽愛好者による日頃の学習活動の成果を発表するコンサートです。なお、実施にあたりましては利用者連絡会との共催となっております。</p> <p>最後に、④のアの安心・安全な街づくりを市民とともに考える具体策及び④のウの市民企画による講座を実施するの具体策としまして「街づくり懇談会」でございます。内容は、安心安全な住みよい街づくりを目指した学習をする事業として実施をいたします。</p> <p>以上、4つの事業を説明させていただきました。</p> <p>南街公民館の事業計画における重点目標具体策につきましては、以上でございます。</p>
会長	<p>説明が終わりました。</p>

	<p>ご意見がありましたら、ご発言をお願いいたします。  (異議なし)  引き続き、狭山公民館の森田館長お願いします。</p>
森田館長	<p>それでは、平成31年度 狭山公民館の事業計画における重点目標具体策につきまして、ご説明いたします。  重点目標(2)の施策の内容をご覧ください。  最初に、②のイの 子ども対象事業の及び親子対象事業を充実する具体策といたしまして、「夏休み写生会」でございます。  この事業は、近年の学校授業で写生する機会が減ってきており、絵を描くことの楽しさや表現の方法を学ぶ機会を提供することを目的としております。  この事業は、8月2日(金)に実施する予定でございまして、現在、既に定員の30人に達しております。  次に②のエの 地域活動に参加できる機会を提供する具体策といたしまして、地域デビュー講座「手軽で楽しい水彩色えんぴつ～身近な物から描いていこう～」でございます。  この事業は、水彩色えんぴつを基礎から学びながら地域の方々とかかわりを持ち、地域生活をスタートする機会とし、また、現役世代や若者なども地域活動や公民館活動へ第一歩を踏み出すことをめざすことを目的に実施する事業でございます。  この事業は、参加者20人で、6月4日(火)から25日(火)の全4回で実施し、自主グループにはなりませんでしたが、約7の方が既存のグループに入会いたしました。  続きまして、④のウの市民企画による講座を実施する具体策といたしまして「親子講座 ハッピータイム」でございます。  この事業は、幼い子を持つ親たちが、楽しんで子育てできるように支援するとともに、親子が一緒に参加・交流し相談しあえる仲間づくりをするためのきっかけとすることを目的に実施する事業でございます。なお、実施にあたりましては、市民企画委員を募集し、今回は、2の方が応募していただき、現在、企画の準備をしてくださっております。  この事業は、9月7日(土)から開始し、11月2日(土)までの全5回を予定しております。  以上、主な3つの事業を説明させていただきました。  狭山公民館の事業計画における重点目標具体策につきましては、以上でございます。</p>
会長	<p>説明が終わりました。  ご意見がありましたら、ご発言をお願いいたします。  (異議なし)  引き続き、蔵敷公民館の中里館長お願いします。</p>
中里館長	<p>蔵敷公民館の平成31年度の重点目標に対する事業について、予算額が多い、上位3事業についてご説明いたします。  はじめに、予算額約32万円、重点目標、(2) 施策の内容、④、エ、地域団体との連携を推進するために行う『外国人と市民との交流会』事業でございます。  この事業は、東京都のスポーツ振興等事業費補助金事業に該当することから東京都から1/2の補助を受けて実施するものであります。  今年度で第6回目を迎え、会場となる中央公民館のホールの天井改修工事が、11月中旬から3月まで行う関係から9月29日、日曜日に開催を予定し、現在、3回の準備会を開催したところでございます。  つづきまして、予算額10万円の二つの事業について、ご説明させていた</p>

	<p>できます。</p> <p>一つ目は、重点目標、(2)、④、ウ、市民企画による講座を実施するために行う、市民企画高齢者講座、『未(み)・楽(ら)・生(い)倶楽部』でございます。</p> <p>実施日は、9月17日から11月19日の間で、全7回を予定しています。</p> <p>対象は、おおむね60歳以上、全7回出席できる方、定員40名、先着順で、9月3日火曜日から募集を開始いたします。</p> <p>バス見学があり、募集開始後、すぐに定員になる人気の講座だと聞いております。</p> <p>二つ目は、重点目標、(2)⑤ヒガシヤマト未来大学の充実のために、実施するヒガシヤマト未来大学講座でございます。</p> <p>前年度は、『日本一〇〇なプラネタリウムを作ろう!』という講座を5回実施し、延べ参加者は27名でした。</p> <p>今年度は現在、調整中でございます。</p> <p>蔵敷公民館からの説明は、以上でございます。</p>
会長	<p>説明が終わりました。</p> <p>ご意見がありましたら、ご発言をお願いいたします。</p>
全委員	(特になし)
会長	引き続き上北台公民館についてですが、三宅館長が欠席ですので、佐伯中央公民館長、お願いします。
佐伯館長	<p>それでは、平成31年度 上北台公民館の事業計画における重点目標具体策につきまして、ご説明いたします。(2)の施策の内容の文章のところをご覧ください。</p> <p>最初に②-イに該当する子どもを対象とした事業ですが、次世代育成講座の事業において、小学生高学年から高校生までを対象に「模擬国連を体験してみよう」という事業を夏休み期間に、2回にわたり実施します。高校生が講師となって、ゲームや話し合いを通して、国際問題をわかりやすく学びます。</p> <p>続きまして、②の多くの市民が利用できるよという事で、地域発見講座においては、10月より6回にわたり実施します。こちらは「室礼(しつらい)」をテーマとした内容で、節句など伝統行事の本来の意味を考える講義と、室礼に合わせた装飾作りなどを実施する予定です。保育付で実施するので、子育て世代の方から高齢者の方まで、幅広い世代に参加していただける内容になっています。</p> <p>続きまして、③-アの自主グループの発足準備に関してですが、前期保育付講座として「おむつなし育児とアドラー心理学でのびのび子育て」というテーマで5月から10回にわたり実施しました。先日終了したのですが、今後「アドラー心理学」をテーマに自主グループ化への話し合いをしていく予定です。公民館として自主化への支援をしていきます。</p> <p>最後に、④-ウの市民企画による講座についてですが、1月から実施する地域課題講座において、企画委員方式で「人権」をテーマに実施する予定です。これから企画委員会を立ち上げて内容等を検討していきます。</p> <p>以上、4つの事業について説明させていただきました。上北台公民館の事業計画における重点目標具体策につきましては、以上でございます。</p>
会長	<p>説明が終わりました。</p> <p>ご意見がありましたら、ご発言をお願いいたします。</p>
委員	<p>十小は外国人の生徒の方が多いと聞きました。先生が保護者の方と意思疎通がとれなくて、苦労していると聞いています。特に中国の方が多いのだから。上北台公民館の事業でも、先ほどのルビを振るような工夫のほか、外国人の方にもわかりやすくする表現方法が工夫できるのではないでしょ</p>

	うか。
会長	上北台公民館の事業のPRも、そのような点を配慮していくのはどうでしょうかということですね。貴重なご意見ありがとうございました。
委員	おむつなし育児とアドラーに参加していたのですが、全員日本人の方でした。中国の方に会ったことがないです。中国語に訳されたものも見たことがありません。南街にも中国の方が子連れで引っ越してきたのですが、公民館の話題はでませんでした。中国の方にも公民館に来てもらうには、そのような工夫が必要かもしれませんね。
委員	桜が丘で日本語のボランティアをやっているのですが、そこには何人か来ているかと思います。市役所の職員の方でも中国語や韓国語を話せる方がいらっしゃいます。そういう方じゃなくても、ボランティアもいますし、便利になってきているかと思います。
委員	上北台公民館では次世代講座があるかと思いますが、他の館では実施していないですね。中央公民館では中学生、高校生の居場所づくりとして遊空間を実施していますが、上北台は夏休み映画会や、ブックバトルを開催しています。ちよつとずつでもいいので中学生・高校生を呼べるように、近くの学区のこどもたちの居場所ができていくといいので、できれば他の公民館でも小学校の高学年から大学生ぐらいが集まれるようなことをしてもらいたいです。そうすれば、こどもたちがすくすくと育つのではないのでしょうか、よろしくをお願いします。
副会長	来年度のことも考えていくと、重点目標にある②多くの市民が利用できるように、子育て世代が利用しやすいようにする。子ども対象事業及び親子対象事業を充実する。高齢者や障がい者が利用しやすいようにする。地域活動に参加できる機会（地域デビュー）を提供する。となっていますが、このところに中学生、高校生、青年の言葉が入った項目ができればいいのかなと思います。
委員	私は各公民館に行っていますが、中高生は昼間にいっぱいいますよね。2階のロビーで遊んだり、勉強したり。蔵敷公民館の図書室でも遊んでいますし、上北台公民館は児童館もあるので、いっぱいこどもがいます。だから、今聞いた話と違うなと思ひまして。南街や狭山は見ないのですが。
委員	ありがとうございます。
委員	今、私の立場から言わせていただきますと、社会の風を学校に取り入れて、こどもたちに生涯を通して学ぶ力をつけたいというように動いております。例えば、公民館が学校にきて出前講座をし、そこで事業に興味を持たせて、公民館に足を運ばせるというようなこともできるのではないのでしょうか。
会長	東大和市の一中の校長をしていたとき、中学生が公民館にいないで、これをなんとかしたいなと思ひました。そこで公民館で和装や和楽器のグループに協力してもらい、学校に呼んで、和服を着させてもらったり、演奏してもらったりしました。私はすごく興味をもっていたのです。こどもたちが公民館のグループ活動に参加することはできないのですが、公民館ではこんなことしているよというような紹介し、遊空間のようにイベントをひらいて、こどもたちを公民館に行こうというようなやり方ができるのかと思います。 何年後かに今年の遊空間はいつですかと聞くようになったので、これはいい事業だなと感じました。その子どもたちが、上北台のお祭りのときにスタッフとしてお手伝いをしてくれました。また、その子たちが高校生になり、大人になり、公民館に顔を見せてくれるようになったのです。50周年事業でもなにか仕掛けが出来てきてもらえればと思います。
委員	よくわからないのですが、公民館を利用している団体は、ほとんど大人の方でしょうか。中学生や高校生だけの団体が借りることはないのでしょうか。

富田係長	ケースとしては少ないのですが、グループを組むことはできます。中学生までの方は、保護者同伴であればグループを組むことも可能です。高校生の方は、ホール以外は使用可能です。卒業生を送る会をしたいというケースもあります。
委員	実際、子どもがロビーで勉強や遊びをしていますが、そのような子どもたちと学校と連携して、50周年事業でもなにかできるのではないのでしょうか。
会長	ありがとうございました。
委員	本日ご説明いただいた事業は、特色のある各館の事業だと思うのですが、市長の市制方針にある「子育てしやすいまち」、「高齢者の活躍できる場」と各館の事業のリンク付けがあるとわかりやすいと思います。 公民館としては地域デビューいつぐらいから行って、成果についてもお話いただけるとよいかと思いました。
会長	各館、力の入れている事業を説明していただいたのかと思いますが、何か補足等はございますか。また、リンク付けについては、重点目標もご覧いただければと思います。
佐伯館長	特に補足はございません。
会長	他にはいらっしゃいますか。
委員	この事業計画の中の、利用者連絡会とありますが、個々の公民館では独自の組織で、会議の回数や、公民館まつりとの係わりについても様々ですが、例えばまつりの負担金の書式を統一するとか指導のようなことは行わないのですか。
館長	利用連は各館ごとに組織化されていますので、なかなか統一するのは難しいかと思いますが、他市の状況を確認していきたいと思います。ご意見として受け取らせていただきます。
委員	まつりの負担金の会計の様式は、雛形などを作成して、揃えていただいた方がいいと思います。
委員	中央公民館まつりの実行委員をやらせていただいておりますが、中央公民館まつりは、2年に一度のお祭りですし、負担金の金額も、他館に比べて大きくなっています。各館の状況もばらばらですので、ある程度の自由度があっていると思います。また、五館合同交流会の場があるので、そこで提案していただくのはいかがでしょうか。
委員	企画とか内容とかは自由だと思いますが、公民館が補助金だしている部分は統一していた方がよろしいかと思います。私は五館合同交流会には出られないので。
会長	お金に関する報告は統一したほうがいいですよ。
森田館長	私たちは適正に行っていたと思っていたのですが、具体的にどの部分が直したほうがよいのでしょうか。
委員	負担金の様式を揃えたほうがよろしいというだけで、予算があって、それをどのように執行したのか、使った金額だけ残されているというようなことがないようにしてほしいのです。
中里館長	各館の利用連の話もあったのですが、当初予算があって、実際に使ったお金があって、差し引きいくらというような会計の流れは、企業であれば一般的なことになのですが、そういうものがなくて予算なしにいくら使った、というような結果だけ残っているような報告もありました。一般的な企業では予算があって、実際にいくら執行して、いくら残りしましたよというような様式があると思います。
委員	まつりに関しては予算の計画と決算の両立がなく、結果しかないのです。そこだけは、負担金だけは様式を統一できているいいかなと思います。



森田館長	わかりました。その点は、狭山公民館では適正にできています。
会長	では、公民館事業については以上でよろしいですか。 ①～⑤に施策の内容と連動しております。少し分かりづらいので、説明書きがあるといいですね。
会長	審議事項②「公民館事業」について、こちらは委員からのご提案ですので、ご説明をお願いします。
委員	<p>審議会委員になる前まで、公民館への不満があったので、こちらで話させていただきます。公民館の主催講座では、講座終了後に自主サークルになったとき、抽選にもれた人には案内はないですよ。抽選にもれた人の中にも、自主サークルになりたいと思っている人もいられるかもしれませんよ。</p> <p>2つ目になりますが、高齢化により解散しそうなサークルへの救済案についてですが、東大和市には公民館が5館ありますが、それぞれの公民館でつぶれそうなサークルに対して、他館でサークル紹介をまわしていくというのはいかがでしょうか。</p> <p>3つ目は、以前受けた公民館講座の中で、魅力ある講師が一回ずつ担当するものでした。連続して多方面から学んで、ひとつにまとまるおもしろい講座でした。ひとりの講師での自主サークルでは、なかなかできない魅力のひとつだと思うのですが、公民館職員が担当を外れると、講座が無くなってしまって、本当に残念です。担当を引き継ぐということはできないのでしょうか。</p> <p>4つ目は、中央、南街、上北台の3館で保育付講座を行っていますが、それぞれの館で開催する曜日が固定化されています。講座の開催曜日のまま、サークル化になっても、同じ曜日では次の講座があるので、別の曜日を提案されてしまいます。そうすると参加者の中でも都合の悪い人がでることもあります。おおよそ3年間で保育室を卒業すると思いますので、3館で実施曜日を回して変えていくことはできないのでしょうか。</p>
佐伯館長	<p>では、1つずつお答えしていきます。1つ目ですが、基本的にはフォローは行っていません。抽選から外れた方に送付する通知に、別の講座の案内を記載することや、講座後の自主グループ設立の際に、グループ参加の呼びかけをさせていただいたことはあります。</p> <p>2つ目の解散しそうなサークルへの救済案については、五館合同事業で「おとなたちの公活パーティー」という、新規グループ確保に向けての取り組みを数年前から行っております。そういうところに参加して、新たなグループを見つけていただいて、中央公民館で行っているものは他館でも行っているようであれば、そちらのほうをご利用いただくとか、そういう位置づけで対応させていただいております。また、そういう方々がいらっしゃれば、どこの館でも同じように講座の紹介だけではなく、公民館のグループの紹介もさせていただいております。解散しそうなグループであれば、他館の同じようなグループとの交流など行っていただきたいところではございますが、そこまで手がまわっていない状態です。</p> <p>3つ目の公民館職員担当者変更についてですが、基本的に人が変わって講座が無くなってしまうことはないと思います。委員から具体的に事例をお伺いしまして、実際にそのようなことがあったのは受け止めますが、基本的には講座の引継ぎはできているかと思えます。人気講座については、定着して自主グループ化を図っていくようにしたいと思っております。同じようなことばかりやっていると、参加者がなかなかあつまりにくい状況でありますので、担当者がかわったところで、新しい発想の中で講座の内容を検討していければと思います。</p> <p>最後に4番目の保育付講座の実施日、曜日についてですが、こちらは公民館の保育者の方が11名いらっしゃるのですが、その方々が中央・南街・上</p>

	北台で担当としてチームを組んで講座とともに受け入れていただいているような感じで、そこで曜日の調整をさせていただいております。同じ曜日に競合してしまうと、保育者の方のご都合もありますので、できれば各館の曜日を固定していただいたほうが、保育者の方の予定も立てやすいというところで実施させていただいております。これはよく話し合われて行われていることなので、曜日を変更するのは難しいことかと思っております。以上です。
会長	では、他の委員からも何かご意見や質問があればどうぞ。
委員	公民館の講座では、抽選に漏れるようなケースはあるのでしょうか。
富田係長	中央公民館では保育付講座、新堀地区会館ではシニアクラスなどが好評で、抽選させていただいております。
委員	そのような講座は来年度できる限り定員の人数を増やして、実施していただければと思います。 次に、解散するサークルについてですが、高齢化で解散するケースがあると思うのです。他館で活動を行うとなると、立地の問題や、物を持っていかないといけないというのは大変なこと。他館を回ってサークルをすることが本当に救済になるかどうかということです。
委員	サークルを他の館でやるということは、移設とかではなくて、出張講座や出前講座というような意味です。各館の主催講座の1つとして、サークル体験講座が2時間あれば、2サークルを体験しませんかというような講座ができると思います。行って体験よりも、来てくれて体験できたほうが、今後サークルに参加するとき、頑張っていってみたいかなという気持ちになるのではないのでしょうか。
委員	ほとんどの館で同じような内容のサークルがあると思うのですが、特色のあるサークル、たとえば狭山公民館ではバードカービングのようなサークルであるのですが、いわゆる鳥を彫刻するのですが、このようなサークルの体験講座をすれば、わりと興味のある方はいるのではないのでしょうか。
委員	公民館と一緒に講座を行うととても宣伝の効果があつたのですね。また、現在も保育室の救済措置のために保育付体験講座を行っております。前回の研修会でお呼びした井口さんから、公民館とタイアップして1週間キャンペーンを行ったとのお話がありました。タイアップしてやる意味としては、宣伝効果があつたかと思っておりますし、見学体験講座を公民館と市民グループですることはいい案だなと思っております。 4番については、毎年職員の方が苦勞して、すごく考える予定なのです。固定のグループも大切にしなければいけないということもあって、なかなか保育付講座の曜日は変えられないのが現状ではないのでしょうか。
会長	では、以上で公民館事業についてはよろしいですか。続きまして、審議事項③「50周年実行委員会」について、佐伯中央公民館長、説明をお願いします。
佐伯館長	資料2の東大和市立公民館50周年記念事業スケジュール案についてをご覧ください。今後の予定についてですが、7月にこうみんかんだよりにて事業実施の告知ということで、次の9月のこうみんかんだよりにて実行委員の募集を始めたいと思います。10月に実行委員の選出、12月に第1回実行委員会実施したいというのが今年の目標です。市も50周年、オリンピックの年になるのですが、2020年は実行委員会を定期的に開催して、実行委員や職員を班分けしていきます。4月からは新しい年度になりますので、それぞれ皆様からご提案いただいた居場所作り、リーフレット、グルメ研究、PRビデオの内容の検討を行っていただきたいと思っております。秋ごろには記念式典の予算計上に向けて準備をしていきます。2021年は、記念式典の実施となりますが、中央公民館まつりと重なるのですね。ここを目標に成果物を作成したいと思っております。2022年は記念誌の発行をし、2023年には、

	報告を含んでイベントを終了する予定です。
会長	案というわけですが、見通しをこのようになっているということですね。皆様から、質問とご意見をいただければと思います。
委員	前回の記念誌の発行については、記念事業をした翌年の3月に発行しておりますが、今回のスケジュール案では8月とだいぶ早いのですが、終わって1か月ぐらいで発行でもよいと思いますし、開始が4月ではなくて50周年事業と並行して、過去のものはいくらでも作成していくことはできないのでしょうか。
佐伯館長	記念誌の制作と発行に予算の都合もございまして、できるだけ早くということでスケジュール案を作成しています。
委員	熱が冷めないうちに作成できるとよいですね。鉄は熱いうちに打てといいますし。
会長	50周年事業につきましては、今後も皆様のご意見をいただきたいと思えます。他に何かございますか。ないようでしたら、本日の審議事項は以上でございます。
会長	続きまして、次第の4「その他」でございます。ご意見などはありますでしょうか。 特になさそうでしたら、以上で、次第の4「その他」については終了となります。事務局から追加事項はありますか。 本日予定した議事はすべて終了しました。閉会前に副会長からご挨拶をお願いいたします。
副会長	挨拶
会長	これもちまして、第25期第2回公民館運営審議会を閉会いたします。お疲れ様でした。